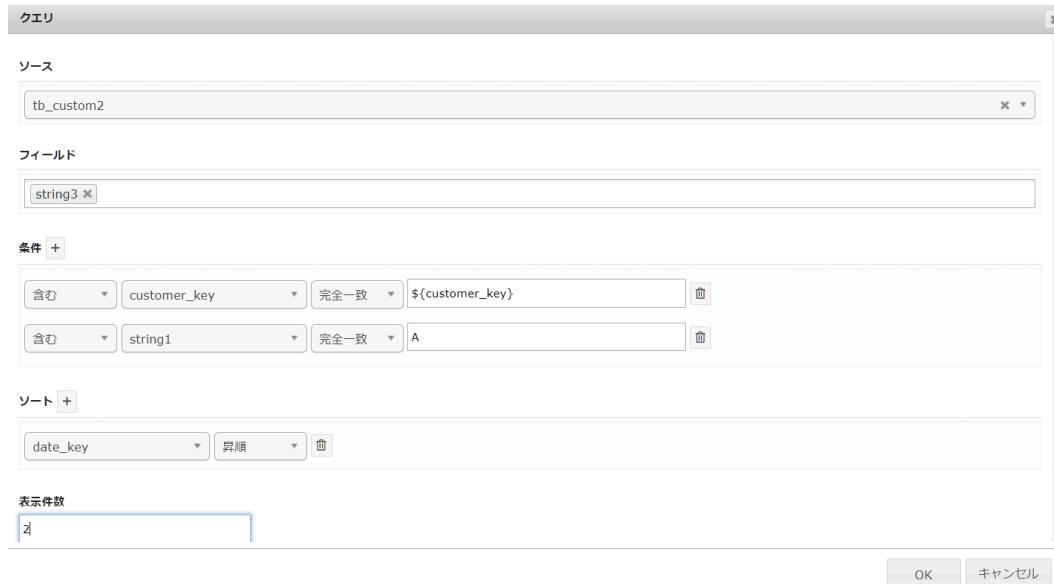


クエリ機能

メール配信のコンテンツなどで、カスタムデータファイルなど任意のデータテーブルの値を差し込みます。



ソース：ソーステーブルを指定します。クエリ機能を利用する場合、データ量によって負荷が高くなったりメール配信速度が遅くなるなど発生する可能性があります。利用される際には、サポートまでお問い合わせください。

フィールド：差し込む項目を選択します。

条件：差し込みをする際の条件にする項目と値を指定します。

ソート：差し込み内容が複数あった場合、ソートする順を指定します。ソートした後上から指定された件数を差し込みます。

表示件数：最大差し込む件数を指定します。

生成されるスクリプト：

差し込み条件

```
#query(2,0,{"select":["string3"],"from":["tb_custom2"],"where":[{"name":"customer_key","type":"text","rule1":"0","rule2":"0","value":      ["${customer_key}","",""]},{"name":"string1","type":"text","rule1":"0","rule2":"0","value": ["A", "", ""]}], "sort":["date_key asc"]})
```

以下、#foreach ~ #end が差し込み件数分繰り返されます。

```
#foreach($tb_custom1 in $query_records)
```

差し込まれる項目の変数

```
 ${tb_custom1.string2}
```

```
#end
```

差し込み変数の活用：

例えば下記のように、ランキングなどの差し込みをする際の条件に指定することができます。

```
#rank("1","5","1","",3,0,{"string1":[$tb_custom1.string2]})
```

```
#foreach($item in $items)
```

```
 ${item.id} ${item.title} ${item.url}
```

```
#end
```